

# 生活部会

## 【 テーマ 】

障がいのある方が、この地域で暮らすために必要な障害福祉サービスについて考える

部会長	内堀 祐輔	地域生活支援センターCoCoちくま
副部会長	中島 美沙子	千曲市福祉課
	高尾 幸矢	坂城町福祉健康課
事務局	中澤 範子	千曲・坂城基幹相談支援センター

## 1. 年間目標

より多くの事業所の職員が部会に参加し、現場の課題について情報共有するとともに、この地域の生活の場の体制づくりについて検討する。

## 2. 活動状況

日時	場所	人数	主な内容
7月11日	ふれあい福祉センター	14	入所系と居宅系のグループに分かれ、各事業所の現状や地域の課題、取り組み事例について情報共有を行った。 両グループから共通の課題として、各事業所における職員の人材不足が挙げられた。
10月3日	ふれあい福祉センター	9	第1回部会のGWで各事業所の共通課題として出された「人材不足」について、人材確保対策を協議した。 事前に記入していただいたワークシートを元に「この仕事の大変なところ、辞めてしまいたくなった経験」、「仕事を続けられている理由、やりがい、この仕事の魅力」、「事業所で行っている人材確保の取り組みや人が集まるアイデア」について意見交換を実施。生活部会で出来る取組みとして、福祉の仕事の魅力を発信する動画を作り配信してみてもどうかという案が出された。 人材不足の問題は地域全体で取り組むべき課題であるため地域連絡会に挙げていくこととした。
12月7日	ふれあい福祉センター	27	公認心理師（千曲市保育相談員）倉田氏を講師に招き、「よりよい障がい支援に向けて」をテーマに発達障がいにおける基本的な障がい特性、支援方法について具体的な事例を交えながらご講義いただいた。
令和5年 2月2日	ふれあい福祉センター	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の振り返り（アンケート結果の共有、感想など）</li> <li>・今年度の振り返り</li> <li>・今後の課題について</li> <li>・次年度の部会の運営について</li> </ul>

## 3. 総括

### ○検討した課題

より多くの事業所の職員にこの部会に参加してもらおうという、今年度の目標はある程度達成することができた。個別の呼びかけと、はっきりとした目的を示したことが良かったと思われる。参加して頂いた事業所の現在の課題について、グループワークを通して参加者全体で共有することができた。

その中で、多くの事業所が人材不足の課題を抱えていることがわかった。その後、地域連絡会及び運営委員会にて報告する中で、生活部会に限らず、この地域全体として、障がい福祉分野の人材不足が課題であることが共有できている。現場から課題を示していくことの必要性を感じることができた。

各事業所それぞれに、人材確保・人材育成に取り組んでいるが、地域全体としても取り組んでいく課題でもある。そんな中で、生活部会としては、現場の職員の「この仕事に対する想いやこの仕事の魅力」を集め、外部に発信していくことができないかと検討してきている。

また、人材育成の視点からは、発達障がいの方の支援について研修会を行うことで、支援提供時の基本的な視点を学ぶ機会を作ることができた。内容も好評だったため、来年度にもつなげていきたい。

### ○次年度に向けて

この地域全体として障がい福祉分野の人材不足が課題となっている。より良い障がい福祉サービスを支える支援体制の充実、人材確保・定着は喫緊の課題であり、生活部会としても取り組んでいきたい。まずは、地域に埋もれている人材がこの障がい福祉現場を知ってもらうきっかけとなるよう、現場の職員の想いや魅力について動画を集め「この仕事の魅力」を伝えるための動画作成を進めていきたい。

発達障がい、知的障がいの方の支援について基本的な学びを提供できる研修会を企画していきたい。また、「高齢化」が進む現場で活かすことのできる学びの場も考えていきたい。

千曲市、坂城町の福祉計画の中間モニタリングの時期でもあるため、生活部会でも現場状況の共有や課題について検討する場をもうけたい。